

稗原地域環境保全会

市町村名 磐田市

地域	稗原地内一円		代表者名	金原 博	活動期間	平成20～24年度	
協定面積 (h a)	水田	8.25	対象面積 (h a)	水田	8.25	対象資源	数 量
	畑	0.25		畑	0.25	農用地	8.5ha
	草地			草地		開水路	3.0km
	計	8.50		計	8.50	パイプライン	
主要作物	水稻		参加団体	部農会 花の会 自治 会 老人クラブ 女性 の会 子供会		ため池	
構成員	農業者	非農業者	計			農道	1.7km
人 数	3	11	14			事業費(年)	370,000
主な活動内容	(基礎部分) ・遊休農地等の発生状況の把握 ・施設の点検 ・共同作業計画の策定 ・草刈り ・配水操作 他		(農地・水向上) ・施設の機能診断 ・診断結果の記録管理 ・年度活動計画の策定 ・暗きよ施設の清掃 ・きめ細やかな雑草対策 ・通水試験の実施 ・ゲート類の保守管理の徹底 他		(農村環境向上) ・生態系保全計画の策定 ・啓発活動 ・外来種の駆除 ・生物の生息状況の把握 ・景観形成、生活環境保全計画の策定 ・広報活動 ・地域内の規制等の取り決め ・景観形成のための施設への植栽等 ・施設等の定期的な巡回点検、清掃		
地域の概要	本地区は、磐田市東南部に位置し昔から鎌田御厨と呼ばれ、伊勢神宮の所領地であり、農耕が盛んな地区である。昭和40年代土地改良事業により基盤整備が施行され水田を中心に耕作している。農業従事者の高齢化と共に後継者不足となり大型専業農家に貸し出す状況にある。						
目指すべき方向	農地の持つ素晴らしさ（多面的機能）を再認識させ、自分たちの住んでいる地区に誇りを持たせること。			構成員による年度計画の打合せ			
活動の感想	自分の家の周りだけでなく、集落を含めた地区全体のごみを拾うようになり環境美化意識の向上に繋がった。						
課題	後継者同様次の世代（40～50代）を如何にして参加させるかが課題。（幼・小児童の親の参加はあるがそれ以降の代の参加が少なくなってしまう）			水路の泥上げ			
抱負・コメント	通学路となっている農道を花いっぱいにし、子供たちに夢を持たせると共に将来の思い出にさせたい。5年間打ち切りでなく継続事業にしていきたいと思います。						
				景観形成 草花の植栽			